

丹波中学校だより

清流の辺

せい りゅう ほとり

平成27年5月13日(水)

No. 4

文責 丹波中学校長 梶原勝由

種まき交流会 老人クラブの方とともに

5月13日(水)、台風5号がさった大空の下、老人クラブの方17人を招いて、種まき交流会を実施しました。この会は、地域の高齢者の方から、人生先輩の智慧を知り、交流を深めることが目的でした。船木三千男丹波山村老人クラブ会長さんをはじめ、多くの方に参加していただき、ありがとうございました。大事に管理・手入れをし、立派な花を咲かせたいと思います。



支部選手権柔道大会 - 柔道一直線!

5月2日(土)、大月武道館に於いて、支部選手権柔道大会があり、嶋崎龍弥君が出場し、Bパートでみごと優勝しました。県選手権柔道大会でも頑張ってください。



生徒会活動 生徒総会

5月8日(金)、生徒総会を行い、活動目標や活動計画について活発に話し合い、決定しました。“Be Ambitious”のローガンの下、栽培活動や定期音楽祭、清流祭に向けて取り組んで欲しいと思います。その生徒総会で期待を込め、次のように述べました。

アメリカ合衆国16代大統領であったリンカーンは、民主主義の本質と云われた言葉を残しています。その言葉とは、「人民の、人民による、人民のための政治」です。この言葉を本校の生徒会に譬えると、7人の生徒が、7人の力で、7人のための活動を行うということになります。

今日のこの会では、7人の生徒一人ひとりが丹波中の活動目標を話し合い、質疑応答し、決定し、様々な場面で実行することが求められます。

しかし、もっと大切なことは、日常生活です。掃除をきちんとする、あいさつをしっかりとる、給食の準備をする、朝読書をし



て心を耕すことです。凡事徹底です。日常生活の当たり前のことを当たり前にし、活動目標を達成する生徒会活動にしてください。



私の勉強方法-中学生時代

担当は堀内翔子先生です。

私が行っていた学習方法は「自由勉強ノート」を作ることです。自主学習ノートと同じものですが、こちらの名前の方が好きなので表紙にでかかど「自由勉強ノート」と書いていました。

作り方は、まずかわいい表紙のノートを買います。そのノートに自分がやりたい教科の勉強をします。やったら担任の先生に見せる。これだけです。私はこれを毎日作っていました。なぜなら、先生が毎日見て感想を言ってくれたからです。自分が学習したことを、他の人に見てもらい評価されることは、とても励みになります。見て欲しくてたくさんノートを書くと、それだけ成績も上がりました。時には、絵や自分の思っていることを書いて持っていくこともありました。それらにも「上手」「そうなんだ」と先生の感想が書いてありました。最も印象的だったのは、中学3年の担任の先生から、「あなたのノートは見ていると楽しいし、後輩にも見せたいから、もらえないかな」と言われたことです。自分のためにやっていたことが、人のためになると知り感動したのを覚えています。この経験から、私は毎日続けること、ノート作りを工夫して学習することの大切さを学びました。

丹波中学校は生徒が少ない分、自由勉強ノートを作って提出すれば、先生方がじっくり見てくださると思います。中間テストも間近な今、始めてみてはいかがでしょうか。

私の中学生の頃

担当は教頭先生です。(次回は牛島智彦先生です)

もう40年程前のことなのに、昨日のこのように思い出される。歳はとったが鮮明に思い出されることがいっぱいあるのは、きっと、何をするにも本気で一生懸命だったからに違いない。

全校生徒48人の小さな田舎の中学校。でも、「大きな学校の生徒には負けない」という気概があった。勉強・部活・生徒会・野山を駆けずり回っての遊び・湖で泳いだり、氷の上で釣りをしたり・村の行事・家の手伝い……。学校の屋根に登って空を見ていたことがあった。雲がゆっくり流れていた。

夢があった。甲子園に行きたい。部活はないから中学3年の冬、高校へ行ったら野球をやろうと決めた。修理工場へ行き、大きなタイヤに穴を開け、ロープを通した。学校から帰った夕方、坂道を何回も引きずった。

友だちが増えました - 7人から8人に -

このたび、新たな友だちを迎えました。5月11日より2年生に、羽毛田一郎君が仲間入りしました。この出会いを大切にし、早く不安を解消し希望に満ちた学校生活を過ごして欲しいと思います。

